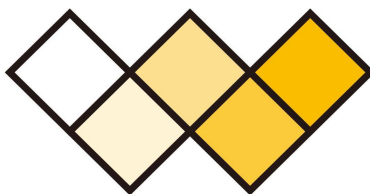


NITRO 41 RACING



ワークナビ
WORKNAVI



WORK NAVI NITRO RACING TEAM RACE REPORT OGURA CLUTCH + NITRO RACING

2024 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ 第2戦
SUPERBIKE RACE in MOTEGI
2024年4月13日(土) : 公式予選・JSB1000レース1 天候: 晴れ コース: ドライ
14日(日) : 決勝・JSB1000レース2 天候: 晴れ コース: ドライ
栃木県・モビリティリゾートもてぎ (1周=4.801379km)
観客動員数: 13,000人 (2日間合計)

・WORK NAVI NITRO RACING TEAM

JSB1000

#28

Race 1 予選21番手 (1分51秒116) 決勝: 20位

Race 2 予選21番手 (1分51秒305) 決勝: 16位

ST600

#10 芳賀涼大

予選3番手 (1分52秒599) 決勝: DNF

#39 岡谷雄太

予選5番手 (1分52秒783) 決勝: 7位

・OGURA CLUTCH + NITRO RACING

ST1000

#12 横山尚太

予選11番手 (1分51秒520) 決勝: 10位



NITRO 41 RACING

4人のライダーが勢ぞろいした第2戦MOTEGI

全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦が栃木県・モビリティリゾートもてぎで行われた。今回より全クラス開催となりWORK NAVI NITRO RACING TEAMからは、JSB1000クラスに芳賀瑛大、ST600クラスには芳賀涼大に加え岡谷雄太がエントリー。さらにOGURA CLUTCH + NITRO RACINGからは、こちらも新加入の横山尚太がST1000クラスにフル参戦する。岡谷は、開幕戦鈴鹿後に話しがまとまり、年間エントリーに間に合わなかったが全戦参戦する予定だ。

JSB1000クラスの瑛大は、前週に行われた公開テストからマシンの調子がおかしく、その原因究明に時間を費やさなければならなかった。さらにレースウィークに入った初日にメインエンジンが壊れてしまい、スペアのスタンダードエンジンを使わなければならなかった。電気系、足回りをいろいろ試すも原因はつかめず、土曜日の予選前によく判明。対策を施し予選に臨み、1分51秒台に入れるが両レースともグリッドは21番手となる。レース1、レース2もライバルについていけても、かわすところまで勝負はできず20位/16位とポイントを獲得することはできなかった。

ST600の涼大は、公開テストから好調で常に上位につけていた。金曜日には、ロングランも行い、予選は3番手とフロントロウに付け、去年のリベンジを果たすべく順調に進んでいた。一方、岡谷は、初めてのマシン・タイヤを理解しながら、着実にタイムアップし、予選5番手と、こちらも決勝に向けて上々の仕上がりとになっていた。

日曜日は初夏を思わせるほど気温が上がり、ST600クラスのレースは12時35分スタートと、この日、一番気温が上がっている中で行われた。涼大は、まずまずのスタートを決め、オープニングラップを4番手で終えると序盤の混戦を抜け出し4周目に3番手に浮上。そのままポジションをキープし、今回こそ表彰台を実現すべく周回を重ねていたが、10周目の5コーナーでフロントから痛恨の転倒を喫してしまう。その後方につけていた岡谷は、7位でチェッカーフラッグを受け、全日本ST600デビュー戦を終えた。

ST1000の横山も、公開テストからトラブルを抱えていたが、決勝朝のウォームアップ走行で解決し、レースに挑んだが、スタート直後から電気系トラブルが発生してしまう。トラブルを抱えながらもゴールを目指し10位でチェッカーフラッグを受けた。

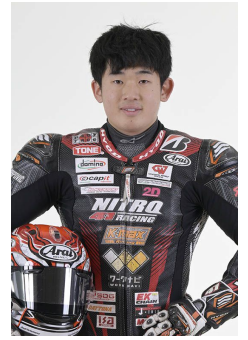


NITRO 41 RACING

・WORK NAVI NITRO RACING TEAM

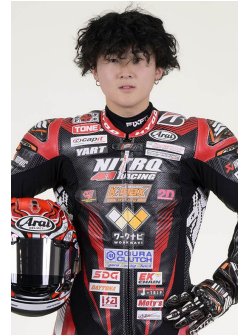
JSB1000ライダー 芳賀瑛大

「公開テストから、ずっとトラブルが出ていて、その原因が分からず、いろいろ試していたのですが、判明したのが金曜日の走行が終わってからでした。さらに初日にメインエンジンが壊れてしまい、スペアのスタンダードエンジンで走ることになりました。予選はトラブルが解消したこともあり、すぐに1分51秒台に入ったのですが、思っていた以上にエンジンが走らず厳しいレースになりました。次戦SUGOは、しっかり準備して勝負できる状態で挑みたいです」



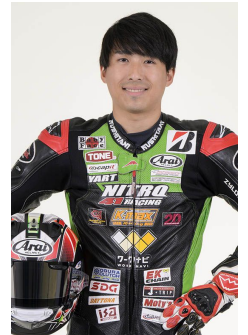
ST600ライダー 芳賀涼大

「公開テストからレースウィークを通じて、どのセッションも調子よく上位に入れていましたし、金曜日にはロングランも行いレースシミュレーションもできていました。予選の1発タイムは昨年より遅かったのですが、アベレージはよくなっていたので自信をもってレースに挑めました。途中までは、うまく走ることができていたのですが、決勝のコンディションに合わせきれなかったことが転倒につながってしまいました。この経験を糧に次戦SUGOは2レース制なので、必ず表彰台、そして優勝を狙っていきます」



ST600ライダー 岡谷雄太

「限られた時間の中で、いろいろ試行錯誤したのですが、予選で思っていた以上にタイムが出ましたし、何とかまとまった感じでした。ただ、レースは気温が上がったことで、うまく走らせることができなかったのが反省点です。ブリヂストンタイヤも、まだ3回くらいしか履いていませんでしたし、寒いときにしかタイムを出していないので、まだまだ理解度不足です。そこを詰めることができれば、表彰台争いにも加わられたと思うので、次戦はテストから、しっかり仕上げていきたいですね」



NITRO 41 RACING

・ OGURA CLUTCH + NITRO RACING

ST1000ライダー 横山尚太

「まずは今年も全日本ST1000クラスに参戦できることを小倉クラッチ様、チーム、応援してくださっている皆様に感謝いたします。公開テストからトラブルを抱えていたのですが、土曜日に解消され、日曜日朝のウォームアップ走行では、1分51秒台から52秒台で周回できることを確認できたので、いいレースができると思っていました。しかしレースがスタートすると電気系トラブルが発生してしまい思い切った走りができなかったのですが、何とかシングルフィニッシュを目指しました。10位と目標には届きませんが、ポイントを獲得することができたので、ここから這い上がります。次戦はホームコースのSUGOなのでビシッと決めたいです」

チーム代表・監督 芳賀紀行

「JSB1000クラスの瑛大は、初日にエンジンが壊れてしまいスペアエンジンが思いのほか走らず、申し訳ないレースをさせていただきました。エンジンが速ければ、もっと上の方を走れるはずですが。ST600の涼大は、ウィークの流れは悪くありませんでしたし、どうしたら勝つことができるかは、いろいろ経験してきたはずですから、あとは自分次第というところです。岡谷は去年までヨーロッパを走っていて全日本は久しぶり、マシン、タイヤは初めてという中で、うまくまとめて来ました。涼大と切磋琢磨して2人でトップを狙えるでしょう。横山は決勝でトラブルを抱えながらも、しっかり完走してくれましたし、次戦SUGOは地元なのでいい結果を残せるようにバックアップしていきます」



このリリースに関するお問い合わせは下記まで

MOTOR CYCLE PRO SHOP K-max

TEL : 052-652-3456

MAIL:kmax-contact@kmax-inc.jp

